

# 政務活動費成果届出書

届出者 山田清一

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

- ①秋田県横手市行政視察 (健康の駅 よこて)
- ②第2回地域共生社会推進全国サミット in ゆざわ

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

①高齢社会を迎え、健康長寿や在宅介護へと高齢者の施策が展開され、半田市においても各地域で健康づくりに関する取り組みが推進されています。横手市では、子どもから高齢者まですべての市民が健康をテーマとした「健康の駅」を市民の交流拠点として、効果的な健康づくりが実践されています。「健康の駅よこて」は、厚生労働省が創設した「第1回健康寿命をのばそう！アワード」において、平成24年度に自治体部門の優良賞を受賞。

健康の駅に大規模・中規模・小規模健康の駅として3つのカテゴリーにそれぞれの機能を持たせて効果を上げています。

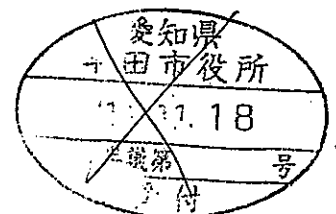
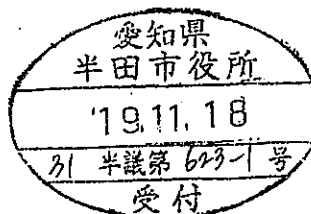
健康寿命を伸ばすことが介護予防にもつながり、長期的には医療費の削減や健康づくりに対する意識の高揚や健康づくりを通じた地域コミュニティの強化などの効果も期待される取り組みのようです。

視察により、今後の半田市の高齢者をはじめ、市民の健康づくりや健康長寿への取り組み強化につながるよう調査研究していきます。

②厚生労働省が掲げる「地域共生社会」とは、「子ども・高齢者・障がい者など全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる」社会のことです。社会構造や暮らしの変化に応じて、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指すというものです。

半田市においても、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、福祉などの地域の公的サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる仕組みの構築が進められています。市・社会福祉協議会・NPO法人・各種団体などと多様な取り組みが行われてきており、今後さらなる「地域共生社会の実現」へ向け、議員の立場として知見を深めるとともに、今後の取組について考え学ぶ機会として、これからの半田市に活かしていきます。

確認欄	議長	管理委員長



○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

①秋田県横手市行政視察 (健康の駅 よこて)、目的は達成できた。

- ・ 横手市では、市民交流拠点において市民の健康維持増進を目的として、健康のための活動を行う施設で健康をテーマにした「健康の駅よこて」事業に取り組んでいた。
- ・ 保健師、健康運動指導士や運動指導員が常駐する「大規模健康の駅」が3カ所あり、トレーニングマシンを使用して筋力トレーニングや有酸素運動を利用者の身体適正に合ったプログラムにより実践していた。年齢層は、50歳以上、50歳以下ともに約半数であり、多年齢層が利用している状況であった。
- ・ 公民館等を利用し専門の指導員を派遣する地域密着型の「中規模健康の駅」が21カ所、町内会館等で行う「小規模健康の駅」が60カ所設置されていた。公民館活動や地域活動と連携し健康体操や健康に関する講座などを地域に密着した場所に「中・小規模健康の駅」を設置し、気軽に地域住民が参加できるよう取り組まれていた。
- ・ 今後も設置数の拡大を目指し2027年までに110カ所設置の目標で推進していた。
- ・ 若者から高齢者まで誰でも手軽に日常的に体操ができるよう「健康の駅よこてらしく体操」を考案し、要介護1の方でもできる体操を推進・実践していた。
- ・ 市民ボランティアも活躍している。
- ・ 担当職員の方により事業説明および質疑応答の後、横手市交流センター4階の「大規模健康の駅よこて東部トレーニングセンター」を現地視察しました。JR横手駅前に位置し利便性に優れた場所に立地しており、広いトレーニングルームに多くのトレーニングマシンが設置されており、常駐する指導員の指導により利用者の方がトレーニングに励む設備や環境を確認した。
- ・ 民間のトレーニングジムも市内にあるので、民業圧迫にならないように夜間は利用できないようにしている、とのことであった。

②第2回地域共生社会推進全国サミット in ゆざわ

- ・ 秋田県は全国一高齢化と人口減少が加速しているといわれており、開催地の湯沢市においては人口約4万5千人、高齢化率40%目前であり、近年では毎年千人弱の人口減が続いている状況であった。

「つながる環を新しい時代につなぐ～人口減少を乗り越えるために今できること～」をテーマに人口減少等に起因する地域課題などを含め、有識者による講演や先進事例の紹介を交え、地域共生社会の実現を目指して、令和の新しい時代を迎えた今できることについて考える機会となった。

- ・ 【基調対談】新福祉ビジョンの構想から地域共生社会の実現へ
- ・ 【パネルディスカッション】新しい時代の地域共生社会
- ・ 【課題先進地からの提言】人口減少に負けない明るい地域をつくるために  
～人・モノ・お金・思いのつながりの環～
- ・ 【分科会B】人生100年時代の働き方と健康づくり～生涯現役社会の実現に向けて～

	議長	管理委員長
確認欄		

○提 言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

①秋田県横手市行政視察 (健康の駅 よこて)

- ・ 半田市には、トレーニング施設が半田運動公園と半田福祉ふれあいプールの2カ所  
にあり、多くの方に利用されているが、常駐の指導員等の配置やトレーニング効果  
をデータ化できるよう体組成計を設置するなど、改善の余地がある。
- ・ 健康づくり・健康寿命・介護予防に着目した取組みにトレーニング施設の利用促進  
は大変有効であり、市施設の利用および活用のあり方を見直す時期に来ている。
- ・ 半田市内には、民間のトレーニングジムも数多くあるため、民間施設の活用や連携  
も視野にいれた取組みにより、健康をキーワードにした取組みの強化・推進を図  
る。
- ・ 健康寿命を伸ばすことが介護予防にもつながり、長期的には医療費の削減にも貢献  
するが、健康づくりに対する意識の高揚や健康づくりを契機とする市民交流の深化  
などの効果も期待されることから、半田市においても取組みの拡充を図る。
- ・ 半田市の高齢者の健康長寿への取組みについて様々な有効的な施策を考える必要が  
あるが、子どもから高齢者まで、多世代を対象に関係部署が連携して推進できる体  
制の構築が必要である

②第2回地域共生社会推進全国サミット in ゆざわ

- ・ 地域共生社会の実現については、子ども・高齢者・障がい者など全ての人々が地  
域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」を実現  
する。このため、支え手側と受け手側に分かれるのではなく、地域のあらゆる住民  
が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成  
し、福祉などの地域の公的サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる  
仕組みを構築する。
- ・ 改正社会福祉法には、市町村が以下の包括的な支援体制づくりに努める旨が規定さ  
れているため、半田市においても以下の2点について取り組むこと。
  - ①地域住民の地域福祉活動への参加を促進するための環境整備
  - ②住民に身近な圏域において、分野を超えて地域生活課題について総合的に相談に  
応じ、関係機関と連絡調整等を行う体制
- ・ 地域力強化推進事業 (補助率 3/4) ・ 多機関の協働による包括的支援体制構築事業  
(補助率 3/4) を活用し、地域共生社会の実現に向けた地域づくりの強化に取り組むこ  
と。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

厚生労働省の「地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に関する検  
討会」に、半田市社会福祉協議会の加藤恵さんが委員として参加している。

	議長	管理委員長
確認欄		

○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間 (概略可)	内容		金額 (円)	領収書 No.
10/9	5:50~6:43	知多半田駅—中部国際空港 (バス)	運賃	750 /	なし
〃	7:50~ 9:10	中部国際空港—秋田空港 (ANA1837 便)	航空運賃	17,210 /	①
	9:30~10:10	秋田空港—秋田 (バス: 秋田空港線)	運賃	950 /	②
		昼食等			
	11:48~13:08	秋田—横手 (JR 奥羽本線 新庄行)	運賃	1,340 /	③
〃	14:00~16:00	横手市視察	手土産 1,620	324 /	④
	宿泊	ホテルプラザアネックス横手		8,500 /	⑤
10/10	11:34~11:53	横手—湯沢 (JR 奥羽本線)	運賃	330 /	⑥
		湯沢駅—会場 無料シャトルバス			
〃	13:00~17:40	開会行事 基調対談、パネルディスカ ッション他 (概要に記載)	参加費 振込手数料	3,000 / 432 /	⑦ ⑧
〃	18:30~20:00	交流会	参加費 自費 3,000 円		
〃		無料送迎バス 湯沢—横手			
〃	宿泊	大会主催者の宿泊プラン ホテルプラザアネックス横手	宿泊費	12,000 /	⑧
10/11	9:23~9:42	横手—湯沢	運賃	330 /	⑨
〃	9:50~10:05	無料送迎バス 湯沢駅—会場			
〃	10:15~15:00	分科会、特別講演他 (※概要に記載)	参加費	⑦ に含む	⑦
〃	15:05~15:10	無料送迎バス 湯沢文化会館—湯沢駅			

〃	15:23~16:06	湯沢—名古屋 (JR 奥羽本線 秋田行)	運賃	12,640 /	①
〃	17:43~21:04	大曲—東京 こまち 36 号	指定席	7,520 /	①
〃	21:49~0:05	東京—名古屋 (大幅遅れ) のぞみ 429 号	指定席	4,830 /	①
〃	0:20~1:10	名古屋—知多半田 (台風の影響によりタクシー利用)	16,990 (3 名)	5,664 /	⑩
			合 計	75,820 円	

※大会参費 3,000 円/人、交流会参加費 3,000 円/人 (私費負担)、宿泊費 12,000 円/人、の 5 名分、小計 18,000 円の 5 名分、計 90,000 円を代表者がとりまとめ指定口座に振り込みを行っているため、振り込み手数料 432 円 (No.⑧) は代表者の政務活動費として請求する。

# 領収書等貼付用紙

議員名 山田清一

タイトル

- ①秋田県横手市行政視察（健康の駅 よこて）
- ②第2回地域共生社会推進全国サミット in ゆざわ

3 枚中 | 枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

①

## 領収証

HC-00028908

発行日 2019/09/30

山田 清一 様

印紙税申告納  
付につき名古屋市中村  
区 発表 天 區 券

金額 ¥42,200-

上記金額を正に領収いたしました

但し 10/9～11秋田視察 航空券&新幹線代として

現金

小切手

振込

クレジット

その他

名鉄観光サービス株式会社

(本社所在地)

名古屋市中村区名駅南二丁目14番19号

(住友生命名古屋ビル8階)

領収者印、責任者印のないもの及び訂正したものは無効です

責任者印

領収者印

加藤

寺澤

HC-037299

②

## 領収書

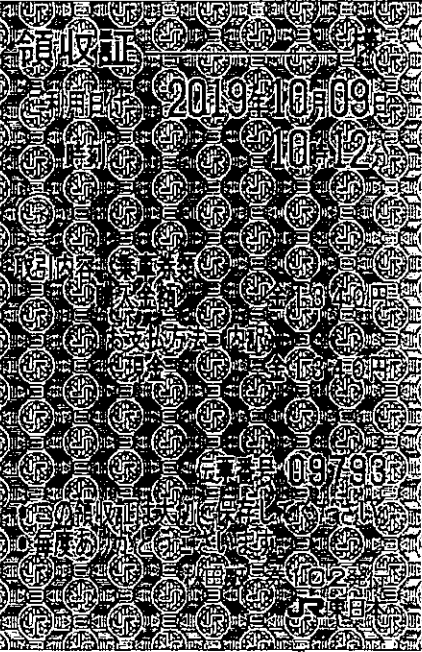
秋田中央交通株式会社

2019年10月9日(水) 09:08:00 2号機

¥950-

バス乗車代金として  
上記金額を領収いたしました

③



領収書等貼付用紙

議員名 山田清一

タイトル

- ①秋田県横手市行政視察 (健康の駅 よこて)
- ②第2回地域共生社会推進全国サミット in ゆざわ

3 枚中 2 枚目

2019年10月07日 (月)

④

領 収 書

山田 清一 様

¥1,620-

(但し として 正に領収致しました)

一連No092077  
領収No006040

④

税抜金額  
¥1,500-  
費税合計  
¥120-



松葉堂

半田市御幸町103  
電話(0569)21-0046

印刷面を内側に折って保管願います

⑤



HOTEL PLAZA ANNEX YOKOTE

RECEIPT

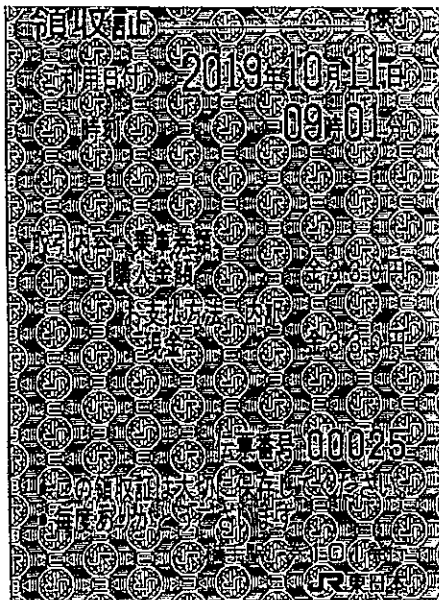
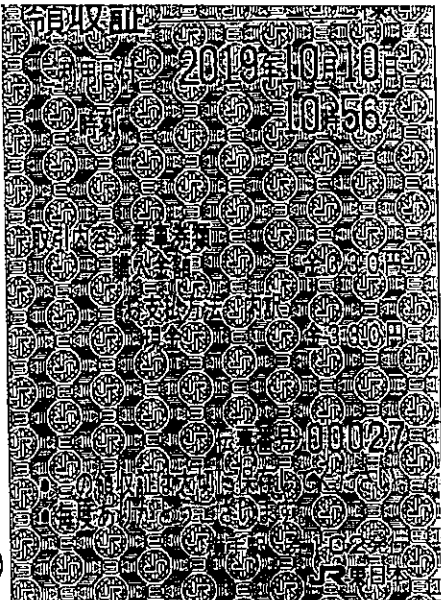
NAME 山田 清一  
ROOM No 6010  
ARRIVAL 19/10/09  
PERSON(S) 1  
DEPART 19/10/10

【 DEPOSIT 】	8,500
CREDIT	
【 DESCRIPTION 】	
19/10/09	8,500
SINGLE	8,500
SUB TOTAL	8,500
TAX	(772)
AMOUNT TOTAL	0
19/10/09	No.000335521



SIGNATURE

Thank you for your patronage.  
プラザアネックス横手  
〒013-0036  
7-7 Ekimaechou Yokote-city Akita  
TEL : 0182-32-7777 FAX : 0182-32-0900



⑥

⑨

令和元年10月28日

領収書等貼付用紙

議員名 山田清一

タイトル

- ①秋田県横手市行政視察 (健康の駅 よこて)
- ②第2回地域共生社会推進全国サミットinゆざわ

3 枚中 3 枚目

第2回地域共生社会推進全国サミットinゆざわ  
**大会参加費領収書**

⑦

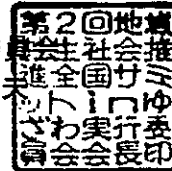
山田 清一 様

金3,000円也

上記のとおり、令和元年10月10日、11日開催の大会参加費として正に領収いたしました。

令和元年10月10日

第2回地域共生社会推進全国サミットinゆざわ実行委  
 会長 鈴木俊夫



年月日	取扱店番	お取引内容
010906	0440240	お振り込み
受付通番	銀行番号	支店番号
0009		
お取引金額		
*****		¥90,000*
*****		
お取扱い できない場合	残高	
08.49	432*	あつり
三菱UFJ銀行		
きよなみ支店		
普通 1490061		
カ)シ イイテイヒーヒシ)ネスネットワーク		
様		
ヤマタ)セイイチ様		
0569265657		
印紙税		

⑩  
 参加費 3000- x 5人  
 交流費 3000 x 5人 (自)  
 宿泊代 12000 x 5人

領収書

2019年10月12日 -022

メーター運賃 ¥17,250円  
 ETC 料金 + ¥970円  
 遠距離 割引 - ¥1,230円  
**合計 ¥16,990円**

《お支払内訳》

ルゾット 決済 ¥16,990円  
 車両番号 55265  
 乗務員番号 005678  
 毎度ご乗車ありがとうございます。



三和交通(株)

北区西味鏡1-110

☎ 901-9552

無線配車センター ☎ 913-8686

⑧



電車・バス等の公共交通機関において、領収書等の徴取ができない支出の明細書

タイトル

- ①秋田県横手市行政視察（健康の駅 よこて）
- ②第2回地域共生社会推進全国サミット in ゆざわ

支出年月日	金額	経路
10月9日(木)	750円	5:50 知多半田駅発 — 6:43 中部国際空港着 (知多バス半田常滑線)

※特急料金については、この用紙には記載できない。領収書等、支払を証する書類を必ず添付すること。

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和元年10月28日

議員名 山田清一



# 政務活動費成果届出書

届出者 山本半治

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

- ①秋田県横手市行政視察 (健康の駅 よこて)
- ②第2回地域共生社会推進全国サミット in ゆざわ

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

①高齢社会を迎え、健康長寿や在宅介護へと高齢者の施策が展開され、半田市においても各地域で健康づくりに関する取り組みが推進されています。横手市では、子どもから高齢者まですべての市民が健康をテーマとした「健康の駅」を市民の交流拠点として、効果的な健康づくりが実践されています。「健康の駅よこて」は、厚生労働省が創設した「第1回健康寿命をのぼそう！アワード」において、平成24年度に自治体部門の優良賞を受賞。

健康の駅に大規模・中規模・小規模健康の駅として3つのカテゴリーにそれぞれの機能を持たせて効果を上げています。

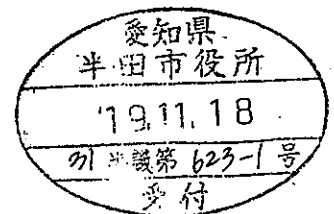
健康寿命を伸ばすことが介護予防にもつながり、長期的には医療費の削減や健康づくりに対する意識の高揚や健康づくりを通じた地域コミュニティの強化などの効果も期待される取り組みのようです。

視察により、今後の半田市の高齢者をはじめ、市民の健康づくりや健康長寿への取り組み強化につながるよう調査研究していきます。

②厚生労働省が掲げる「地域共生社会」とは、「子ども・高齢者・障がい者など全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる」社会のことです。社会構造や暮らしの変化に応じて、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指すというものです。

半田市においても、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、福祉などの地域の公的サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる仕組みの構築が進められています。市・社会福祉協議会・NPO法人・各種団体などと多様な取り組みが行われてきており、今後さらなる「地域共生社会の実現」へ向け、議員の立場として知見を深めるとともに、今後の取組について考え学ぶ機会として、これからの半田市に活かしていきます。

確認欄	議長	管理委員長



○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

①(道の駅 よこて) 達成できた。

・人生100年時代の働き方と健康づくりを目指し健康の駅よこて事業に取り組んでいた

・「健康の駅」とは、NPO法人地域交流センター「健康の駅推進機構」が示す

(1)老若男女問わず集まりやすい取組み。

(2)生活習慣病、介護予防に有効な健康増進プログラムを実施。

2つの取組を実施する施設を認定。

大・中・小規模駅として事業を実施

・大規模駅 東部、西部、南部の3か所にトレーニングセンターを開設。

(高校生以上1日2時間以内200円)トレッドミル、エアロバイク、筋トレマシン等を健康運動指導士等がサポート。

・中規模駅 公民館等に運動指導員等を派遣しサポート。

よこてらしく体操、健康講話、体力テスト、健康チェック、地域交流、栄養講話実施

・小規模駅 町内会館、福祉施設に運動指導員を派遣しサポート。

中規模駅同様の内容実施。

健康の駅事業の成果

・地域の状況に合わせて大中小規模駅があり市民が通いやすい。

・医療機関、行政の連携により専門職の手厚いサポートが受けられる。

・オリジナルのよこてらしく体操で幅広い年齢層に適した体操ができています。

・3B体操、ヨガ、エアロビクス等、市民ボランティアによるサポーターが充実。

②地域共生社会推進全国サミットinゆざわ 達成できた。

・団塊世代が高齢者となる2025年そして、団塊ジュニアが高齢者となる2040年には、人口減少、少子高齢化がさらに進展することに向けて、子供、高齢者、障がい者など全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り高め合うことができる「地域共生社会」実現の重要性を学ぶことができた。

・そのために、支えて側と受け手側に分かれるのではなく、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成、福祉などの地域の公的サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる仕組みを構築することが重要となることを学んだ。

・そのためには、包括的支援と多様な参加・協働の推進が必要となる。

・具体的には、断らない相談支援(社会参加・就労支援・居住支援など)

参加支援(社会とのつながりや参加の支援)

地域やコミュニティにおけるケア・支え合う関係性の育成支援

地域を構成する多様な主体が出会い、学び合うことができる「プラットフォーム」を構築する。

・ネガティブに生きるよりポジティブに生きる方が7.5年寿命を延ばすことができる。

確認欄	議長	管理委員長

○提 言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

① (道の駅 よこて)

- ・市民が通しやすい半田市版の「健康の駅」を推進する。
- ・民間施設を上手に活用しながら分散型のトレーニングセンターを開設する。
- ・半田市においても、よこてらしく体操を普及する。(体操活用了解済み)

②地域共生社会推進全国サミットinゆざわ

- ・半田市版の地域共生社会に向けた包括支援と多様な参加・協働の推進に取り組む。
- ・健康寿命を延ばすためにも、ポジティブな生き方への調査研究の取り組みを行う。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

--

確認欄	議長	管理委員長

○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間 (概略可)	内容		金額 (円)	領収書 No.
10/9	5:50～ 6:43	知多半田駅—中部国際空港 (バス)	運賃	750	なし
〃	7:50～ 9:10	中部国際空港—秋田空港 (ANA1837便)	航空運賃	17,210	①
	9:30～ 10:10	秋田空港—秋田 (バス：秋田空港線)	運賃	950	②
		昼食等			
	11:48～ 13:08	秋田—横手 (JR奥羽本線 新庄行)	運賃	1,340	③
〃	14:00～ 16:00	横手市視察	手土産 1,620÷5	324	④
	宿泊	ホテルプラザアネックス横手		8,500	⑤
10/10	11:34～ 11:53	横手—湯沢 (JR奥羽本線)	運賃	330	⑥
		湯沢駅—会場 無料シャトルバス			
〃	13:00～ 17:40	開会行事 基調対談、パネルディスカッション他 (概要に記載)	参加費	3,000①	⑦
〃	18:30～ 20:00	交流会	参加費 自費 3,000円		
〃		無料送迎バス 湯沢—横手			
〃	宿泊	大会主催者提案の宿泊プラン ホテルプラザアネックス横手	宿泊費	12,000	⑧
10/11	9:23～9:42	横手—湯沢	運賃	330	⑨
〃	9:50～ 10:05	湯沢駅—会場 無料送迎バス			
〃	10:15～ 16:00	分科会、特別講演他 (※概要に記載)	参加費	⑦に 含む	⑦
〃	16:15～ 16:20	無料送迎バス 湯沢文化会館—湯沢駅			

〃	16:41～ 17:21	湯沢一名古屋 (JR 奥羽本線 秋田行)	運賃	12,640	①
〃	17:43～ 21:04	大曲一東京 こまち 36 号	指定席	7,520	①
〃	21:23～ 22:57	東京一名古屋 のぞみ 265 号	指定席	4,830	①
〃	23:17～ 23:51	名古屋一半田 (台風の影響によ りタクシー利用)	16,990 円 ÷3	5,663	⑩
			合 計	75,387 円	

※大会参費 3,000 円/人、交流会参加費 3,000 円/人 (私費負担)、宿泊費 12,000 円/人、の  
5 名分、小計 18,000 円の 5 名分、計 90,000 円を代表者山田清一議員がとりまとめ指定口  
座に振り込みを行っている。(No.⑧)

領収書等貼付用紙

議員名 山本 半治

タイトル

- ①秋田県横手市行政視察（健康の駅 よこて）
- ②第2回地域共生社会推進全国サミット in ゆざわ

3 枚中 枚目

領収証

HC-00028909  
発行日 2019/09/30

①

山本 半治 様

印紙税申告納  
付につき名古屋中村  
税務署承認済

金額 ¥42,200.-

上記金額を正に領収いたしました  
但し10/9~11秋田視察 航空券&新幹線代として

- 現金
- 小切手
- 振込
- クレジット
- その他( )

名鉄観光サービス株式会社  
(本社所在地)  
名古屋市中村区名駅南二丁目14番19号  
(住友生命名古屋ビル8階)

責任者印	領収者印
加藤	寺澤

領収者印、責任者印のないもの及び訂正したものは無効です。

HC-037299

領収書

秋田中央交通株式会社  
2019年10月 9日(水) 09:33 001号欄  
¥950.-

バス乗車代金として  
上記金額を領収いたしました

②

領収証

利用日付 2019年10月09日  
時刻 10時12分

③

取引内容 乗車券類  
購入金額 金1,340円  
お支払方法 因取  
現金 金1,340円

伝票番号 09794

この領収証は大切に保存してください  
毎度ありがとうございます

秋田駅 券(02発行)  
JR東日本

領収書等貼付用紙

議員名 山本 半治

タイトル

①秋田県横手市行政視察 (健康の駅 よこて)  
②第2回地域共生社会推進全国サミット in ゆざわ

枚中 2枚目

2019年10月07日 (月)

領収書

一連No092077  
領収No006040

山田 清一 様

¥1,620-

(但し として 正に領収致しました)

税抜金額  
¥1,500-  
消費税合計  
¥120-



松華堂

半田市御幸町103  
電話(0569)21-0046

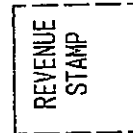
印刷面を内側に折って保管願います



RECEIPT

NAME 山本 半治  
ROOM No 6012  
ARRIVAL 19/10/09  
DEPART 19/10/10  
PERSON(S) 1  
ARRIVAL 19/10/09  
DEPART 19/10/10  
CASH 8,500

【 DEPOSIT 】  
19/10/09  
SINGLE 8,500  
SUB TOTAL 8,500  
TAX 8,500 (772)  
AMOUNT TOTAL 0  
19/10/09 No.000335524



Thank you for your patronage.  
プラザアネックス横手  
〒013-0036  
7-7 Ekimaechou Yokote-city Akita  
TEL : 0182-32-7777 FAX : 0182-32-0900

⑥ 領収証 様  
ご利用日付 2019年10月10日  
時刻 10時56分

取引内容: 乗車券類  
購入金額 : 金330円  
お支払方法 内訳  
現金 : 金330円

伝票番号: 00026

●この領収証は大切に保存してください。  
●毎度ありがとうございます。

横手駅 券102発行  
JR東日本

⑨ 領収証 様  
ご利用日付 2019年10月11日  
時刻 09時01分

取引内容: 乗車券類  
購入金額 : 金330円  
お支払方法 内訳  
現金 : 金330円

伝票番号: 00046

●この領収証は大切に保存してください。  
●毎度ありがとうございます。

横手駅 券102発行  
JR東日本



領収書等貼付用紙

議員名 山本 半治

タイトル

①秋田県横手市行政視察（健康の駅、よこて）  
②第2回地域共生社会推進全国サミットinゆざわ

3 枚中 3 枚目

第2回地域共生社会推進全国サミットinゆざわ  
大会参加費領収書



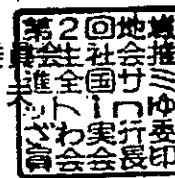
山本半治様

金3,000円也

上記のとおり、令和元年10月10日、11日開催の大会参加費として正に領収いたしました。

令和元年 10月 11日

第2回地域共生社会推進全国サミットinゆざわ実行委  
会長 鈴木 俊



ご利用明細 三菱UFJ銀行

ご来店いただきありがとうございます。

このご利用明細は必ずお持ち帰りください。

年月日	取扱店番	お取引内容
0109060440240		お振り込み
受付通番	銀行番号	支店番号
0009		
		お取引金額
*****		¥90,000*
*****		
お振込 できない場合	残高	
118.49	¥432*	おつり

三菱UFJ銀行  
きよなみ支店  
普通 1490061  
カ)シ"エイテイ"ヒ"ー"シ"ネスネットワーク  
様  
ヤマタ"セイイチ"様  
0569265657  
印紙税

領収書

2019年10月12日 -022

メーター運賃 ¥17,250円  
ETC料金 + ¥970円  
遠距離割引 - ¥1,230円

合計 ¥16,990円

《お支払内訳》

外割 決済 ¥16,990円  
車種番号 55265  
乗務員番号 005678  
毎度ご乗車ありがとうございます。



三和交通(株)

北区西味鏡1-110

☎ 901-9552

無線配車センター ☎ 913-8686

8

10

電車・バス等の公共交通機関において、領収書等の徴取ができない支出の明細書

タイトル

- ①秋田県横手市行政視察（健康の駅 よこて）
- ②第2回地域共生社会推進全国サミット in ゆざわ

支出年月日	金額	経路
10月9日(木)	750円	5:50 知多半田駅発 — 6:43 中部国際空港着 (知多バス半田常滑線)

※特急料金については、この用紙には記載できない。領収書等、支払を証する書類を必ず添付すること。

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和元年11月18日

議員名 山本 半治



# 政務活動費成果届出書

届出者 坂井 美穂

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研修 広 報・資料作成・資料購入

○タイトル

- ①秋田県横手市行政視察 (健康の駅 よこて)
- ②第2回地域共生社会推進全国サミット in ゆざわ

○目 的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

①高齢社会を迎え、健康長寿や在宅介護へと高齢者の施策が展開され、半田市においても各地域で健康づくりに関する取り組みが推進されています。横手市では、子どもから高齢者まですべての市民が健康をテーマとした「健康の駅」を市民の交流拠点として、効果的な健康づくりが実践されています。「健康の駅よこて」は、厚生労働省が創設した「第1回健康寿命をのばそう！アワード」において、平成24年度に自治体部門の優良賞を受賞。

健康の駅に大規模・中規模・小規模健康の駅として3つのカテゴリーにそれぞれの機能を持たせて効果を上げています。

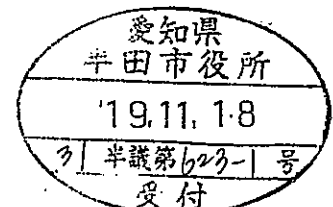
健康寿命を伸ばすことが介護予防にもつながり、長期的には医療費の削減や健康づくりに対する意識の高揚や健康づくりを通じた地域コミュニティの強化などの効果も期待される取り組みのようです。

視察により、今後の半田市の高齢者をはじめ、市民の健康づくりや健康長寿への取り組み強化につながるよう調査研究していきます。

②厚生労働省が掲げる「地域共生社会」とは、「子ども・高齢者・障がい者など全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる」社会のことです。社会構造や暮らしの変化に応じて、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指すというものです。

半田市においても、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、福祉などの地域の公的サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる仕組みの構築が進められています。市・社会福祉協議会・NPO法人・各種団体などと多様な取り組みが行われてきており、今後さらなる「地域共生社会の実現」へ向け、議員の立場として知見を深めるとともに、今後の取組について考え学ぶ機会として、これからの半田市に活かしていきます。

	議長	管理委員長
確認欄		



○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

目的は達成できた。

半田市においても横手市、豊明市はじめ、先進地の取組みを参考にしたい。

①横手市の人口は90,324人、高齢化率は36.84%(H30年12月末)である。

「健康の駅」の取組みについては、事業の立ち上げ当時のことから現在の状況まで、データを示しながら説明をしていただいた。「健康の駅」は、地域で健全な健康維持増進活動をリードする施設で、NPO法人地域交流センター「健康の駅推進機構」により、認証された施設。現在、全国に20駅ある。横手市の事業は平成15年に前市長の一声でスタート。平成17年10月の8市町村合併の際に、3ブロックに分けての健康づくりの支援を開始。拠点型の大規模健康の駅は、3センターあり、運動療法士や保健師が常駐し、市民の健康づくりをサポートしている。いずれも、駅から近い、バスターミナルも近い、銀行・スーパーに近い場所に立地している。

高校生以上であれば1回2時間以内200円で利用でき、平成30年度の利用者平均年齢は49.94歳、利用者数は2,055人で、年齢別割合は、20歳未満：7%、20～29歳：14%、30～39歳：13%、40～49歳：12%、50～59歳：13%、60～69歳：25%、70～79歳：13%、80歳以上：3%と幅広い年代の市民が広く利用している。

地域派遣型の駅は介護認定されている市民も参加可能。高齢者で足のない人に配慮し、公民館や町内会の会館がその場所となっている。

公民館や小学校区単位の中規模健康の駅、町内会単位の小規模健康の駅となっており、運動療法士や保健師が出向く。

平成28年の健康寿命のトップ県は男性が山梨県、女性が愛知県で、秋田県はそれぞれ46位と33位。横手市の健康寿命は、秋田県内(26市町村)で、平成25年に男性が4位、平成27年に8位、女性はそれぞれ4位、10位で上位ではあるものの、ばらつきが見られる。この理由として、秋田県の食習慣では漬物などの塩蔵品があり、塩辛いものに嗜好が偏っている。こうした寒い地域ならではの伝統的な食習慣により、若い人でも高血圧、脳卒中、がんが多いことが挙げられる。学校給食でも減塩メニューがある。また、引きこもりの若者支援(週1回の居場所作り)、認知症予防(物忘れ相談会、脳トレ)、子どもの健康づくり(3歳～中学生までの運動指導)も行っている。現在まで16年の取組みになるが、成果が数字に現れていないため、今後、介護予防や国保データベースによる効果検証ができるようにすること。利用者アンケートによる定性的な効果(体調がよくなった、食事がおいしい、よく眠れる等)は出ている。

(N=700、N=300)

②高齢化による介護・福祉の問題、地域のつながりの衰退、増え続ける保険料の問題を解決する方途として、厚生労働省老健局としても、体操等の「通いの場」づくりからはじめようとの打ち出しであった。次に「互助」を見つけようとの打ち出しで、各地の取組み(お助け隊、井戸端喫茶、高齢者の介護支援ボランティア制度、認知症サポーター等)の紹介があった。こうした介護予防に取り組むことで、保険者機能強化推

確認欄	議長	管理委員長

進交付金を受けることができる。横手市は2,300万円もらっているとのこと。最後に地域ケア会議（専門職：医師、ケアマネ、生活支援コーディネーター等）の各地の好事例の紹介があった。

○提 言 （半田市に対し、何をどう活用するか。）

①半田市においては、高齢者向けの通いの場は（カフェや体操等）多く存在し、横手市の大規模健康の駅のように運動機器を備えており、運動前に血圧を測定してくれて、自分のカルテがあり、安価（200円程度）で使用可能な場もある。実際に通っている人に聞いてみると、通い合う人同士、仲良くなり、非常に楽しく健康づくりができ、通うのが楽しみであるとのこと。中規模、小規模健康の森に該当する通いの場も半田市において公民館などで取り組まれている。これについても、通っている人に聞いてみると楽しいから定期的に毎回参加しているとのことである。

- ・横手市の健康の駅のような健康づくりの通いの場を、半田市が中心となって、計画的に作っていくことが、これから迎える高齢化社会に挑戦することになる。

- ・地域共生社会の観点から、その場においては横手市のように、若者のひきこもりの通いの場の機能や認知症予防の機能も有するものとする。

- ・国からの交付金もしっかりと活用できるようにする。

②地域包括ケアシステムについては、半田市では先進的に取り組んでいる。特にNPO法人やボランティアの市民の方々が多く、お助け隊や認知症サポーターや認知症カフェなどすでに機能している。また、地域ケア会議の場もあると聞いている。この点から、取り組みとしては、現在すでに実施しているということになるが、来る超高齢化に対する対策としては十分ではない。

- ・団塊の世代が75歳以上となる2025年以降の超高齢化に挑戦できるように、現在の個々の活動を半田市としてしっかりとサポートできる仕組みを構築する必要がある。

- ・他自治体で導入している高齢者の介護支援ボランティア制度は、地域での互助をより幅広く、重厚にするために有効な手段である。無償ボランティアでは主体的参加に限界があるが、ポイント還元メリットがあることで、幅広い層に参加をアピールできる。人に尽くすことで生きがい生まれ、健康寿命を延ばすことに繋がると考えられるため、半田市においても導入する必要がある。

- ・半田市においても、専門職（医師、看護師、ケアマネ、生活支援コーディネーター等）と行っている地域ケア会議はあるが、先進事例として紹介された豊明市では、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、司法書士、民間企業も含めた、多職種合同ケアカンファレンスを定期的（要支援・事業対象者：月1回、1.5H、4ケース。要介護：月1回、1.5H、ミニ講座+3ケース）に行い、質の向上を図っており、医療介護連携、総合事業、認知症地域支援、生活支援体制整備事業の市が実施する事業が繋が

	議長	管理委員長
確認欄		

申し合わせ様式第2号

り、効果的な支援方法の検討が可能となっている。  
半田市においても、豊明市を参考に、多職種合同ケアカンファレンスを行い、効果的な支援方法、政策形成に繋げていくのがよい。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

--

確認欄	議長	管理委員長

○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間 (概略可)	内容	金額 (円)	領収書 No.
10/9	5:50～ 6:43	青山駅—中部国際空港 (バス)	運賃 690	なし
〃	7:50～ 9:10	中部国際空港—秋田空港 (ANA1837 便)	航空運賃 17,210	①
	9:30～ 10:10	秋田空港—秋田 (バス：秋田空港線)	運賃 950	②
		昼食等		
	11:48～ 13:08	秋田—横手 (JR 奥羽本線 新庄行)	運賃 1,340	③
〃	14:00～ 16:00	横手市視察	手土産 1,620	④
	宿泊	ホテルプラザアネックス横手	8,500	⑤
10/10	11:34～ 11:53	横手—湯沢 (JR 奥羽本線)	運賃 330	⑥
		湯沢駅—会場 無料シャトルバス		
〃	13:00～ 17:40	開会行事 基調対談、パネルディスカッ ション他 (概要に記載)	参加費 3,000	⑦
〃	18:30～ 20:00	交流会	参加費 自費 3,000 円	
〃		無料送迎バス 湯沢—横手		
〃	宿泊	大会主催者提案の宿泊プラン ホテルプラザアネックス横手	宿泊費 12,000	⑧
10/11	9:23～9:42	横手—湯沢	運賃 330	⑨
〃	9:50～ 10:05	無料送迎バス 湯沢駅—会場		
〃	10:15～ 15:00	分科会、特別講演他 (※概要に記載)	参加費 ⑦ に含む	⑦
〃	15:05～ 15:10	無料送迎バス 湯沢文化会館—湯沢駅		

＃	15:23～ 16:06	湯沢—名古屋 (JR 奥羽本線 秋田行)	運賃	12,640	①
＃	17:43～ 21:04	大曲—東京 こまち 36 号	指定席	7,520	①
＃	21:49～ 0:05	東京—名古屋 (大幅遅れ) のぞみ 429 号	指定席	4,830	①
＃	0:20～ 1:20	名古屋—半田 (台風の影響に よりタクシー利用)		9,055	⑩
			合 計	78,719	

※大会参費 3,000 円/人、交流会参加費 3,000 円/人 (私費負担)、宿泊費 12,000 円/人、の  
5 名分、小計 18,000 円の 5 名分、計 90,000 円を代表者山田清一議員がとりまとめ指定口  
座に振り込みを行っている。(No.⑧)



領収書等貼付用紙

議員名 坂井美穂

タイトル

- ①秋田県横手市行政視察（健康の駅 よこて）
- ②第2回地域共生社会推進全国サミットin ゆざわ

3 枚中 / 枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

①

**領収証** HC-00028906 発行日 2019/09/30

印紙税申告納付につき名古屋市中村区役所署長印済

坂井美穂 様

**金額** ¥42,200-

現金

上記金額を正に領収いたしました  
但し(0/9~11秋田視察 航空券&新幹線代と)

小切手  
 振込  
 現金  
 その他

名鉄観光サービス株式会社  
 (本社所在地) 名古屋市中村区名駅南三丁目14番19号  
 (住友生命名古屋ビル8階)  
 領収者印、責任者印のいずれかの捺印は必須です。

責任者印 領収者印

加藤 寺澤

HC-037299

②

**領収書**

秋田中央交通株式会社

2019年10月9日(水)09:34:0019額

¥950-

バス乗車代金として  
上記金額を領収いたしました

③

**領収証**

2019年10月09日

10月13日

0444

領収書等貼付用紙

議員名 坂井美穂

タイトル

- ①秋田県横手市行政視察 (健康の駅 よこて)
- ②第2回地域共生社会推進全国サミット in ゆざわ

3 枚中 2 枚目

2019年10月07日 (月)

④

領 収 書

山田 美穂 様

¥1,620-

(但し として 正に領収致しました)

一連No092077  
領収No006040

税抜金額  
¥1,500-  
消費税合計  
¥120-



◆ 松葉堂

半田市御幸町103  
電話(0569)21-0046

印刷面を内側に折って保管願います



HOTEL PLAZA ANNEX YOKOTE

RECEIPT

NAME 坂井 美穂  
ROOM No 6015  
ARRIVAL 19/10/09  
PERSON(S) 1  
DEPART 19/10/10

【 DEPOSIT 】  
CREDIT 8,500-

【 DESCRIPTION 】  
19/10/09 SINGLE 8,500  
Subtotal 8,500  
SUB TOTAL 8,500  
TAX (772) 8,500

AMOUNT TOTAL 0  
19/10/09 No.000335523

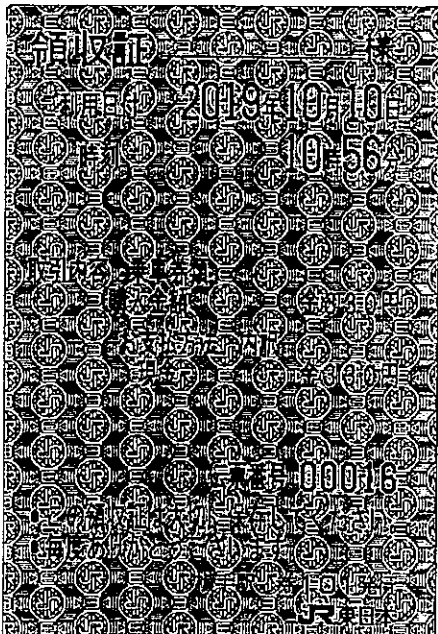
REVENUE  
STAMP

SIGNATURE  
Pr

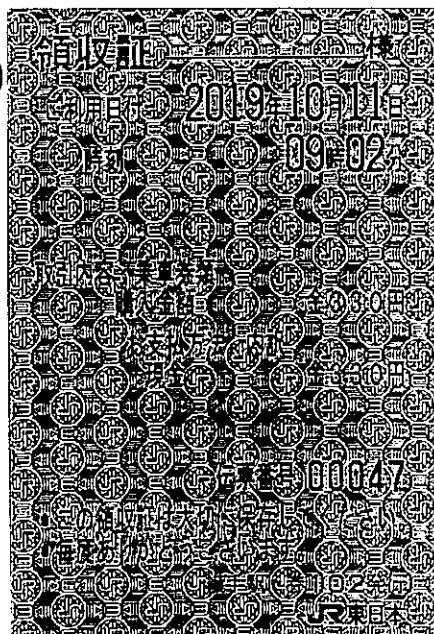
Thank you for your patronage.  
プラザアネックス横手  
〒013-0036  
7-7 Ekimaechou Yokote-city Akita  
TEL : 0182-32-7777 FAX : 0182-32-0900

⑤

⑥



⑨



領収書等貼付用紙

議員名 坂井美穂

タイトル

- ①秋田県横手市行政視察（健康の駅 よこて）
- ②第2回地域共生社会推進全国サミットinゆざわ

3 枚中 3 枚目

第2回地域共生社会推進全国サミットinゆざわ  
大会参加費領収書

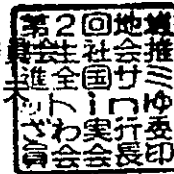
坂井美穂 様

金3,000円也

上記のとおり、令和元年10月10日、11日開催の大会参加費として正に領収いたしました。

令和元年 10 月 11 日

第2回地域共生社会推進全国サミットinゆざわ実行委員会  
会長 鈴木俊夫



ご利用明細 三菱UFJ銀行

ご利用いただきありがとうございます。  
このご利用明細は必ずお持ち帰りください。

年月日	取扱店番	お取引内容
010906	0440240	お振り込み
受付通番	銀行番号	支店番号
0009		
		お取引金額
*****		¥90,000*
*****		
お取扱い できない場合	残高	
08.49	432*	あつ

三菱UFJ銀行  
きよなみ支店  
普通 1490061  
カ)シ「エイテイ-ビ-」ビジネスネットワーク  
様  
ヤマダセイイチ様  
0569265657

印紙税

領 収 証  
(クレジットカード支払)

No.9413

日付 '19年10月12日

車番 100291

基本運賃 ¥18450円

遠距離割引 -¥1350円

ETC料金 ¥1010円

合計 ¥18110円

CD. 4566 0535 3245 1066

CO. UFJ VD.'21/08

MC.

様

「領収、ご  
乗車ありがとうございます」  
交通株式会社  
市北区如來町100番地  
EL901-0012  
ハイタクグループ 名古屋  
EL241-2233  
\*お振れ準

人、お振替の振替ごさいましたら、

電車・バス等の公共交通機関において、領収書等の徴取ができない支出の明細書

タイトル

- ①秋田県横手市行政視察（健康の駅 よこて）  
 ②第2回地域共生社会推進全国サミット in ゆざわ

支出年月日	金額	経路
10月9日(木)	690円	6:02 西成岩発 — 6:43 中部国際空港着 (知多バス半田常滑線)

※特急料金については、この用紙には記載できない。領収書等、支払を証する書類を必ず添付すること。

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和元年10月30日

議員名 坂井美穂



# 政務活動費成果届出書

届出者 新美保博

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研修 広 報・資料作成・資料購入

○タイトル

- ①秋田県横手市行政視察 (健康の駅 よこて)
- ②第2回地域共生社会推進全国サミット in ゆざわ

○目 的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

①高齢社会を迎え、健康長寿や在宅介護へと高齢者の施策が展開され、半田市においても各地域で健康づくりに関する取り組みが推進されています。横手市では、子どもから高齢者まですべての市民が健康をテーマとした「健康の駅」を市民の交流拠点として、効果的な健康づくりが実践されています。「健康の駅よこて」は、厚生労働省が創設した「第1回健康寿命をのぼそう！アワード」において、平成24年度に自治体部門の優良賞を受賞。

健康の駅に大規模・中規模・小規模健康の駅として3つのカテゴリーにそれぞれの機能を持たせて効果を上げています。

健康寿命を伸ばすことが介護予防にもつながり、長期的には医療費の削減や健康づくりに対する意識の高揚や健康づくりを通じた地域コミュニティの強化などの効果も期待される取り組みのようです。

視察により、今後の半田市の高齢者をはじめ、市民の健康づくりや健康長寿への取り組み強化につながるよう調査研究していきます。

②厚生労働省が掲げる「地域共生社会」とは、「子ども・高齢者・障がい者など全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる」社会のことです。社会構造や暮らしの変化に応じて、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指すというものです。

半田市においても、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、福祉などの地域の公的サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる仕組みの構築が進められています。市・社会福祉協議会・NPO法人・各種団体などと多様な取り組みが行われてきており、今後さらなる「地域共生社会の実現」へ向け、議員の立場として知見を深めるとともに、今後の取組について考え学ぶ機会として、これからの半田市に活かしていきます。

確認欄	議長	管理委員長

愛知県  
半田市役所  
19.11.18  
31 半議第623-1号  
受付

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

①秋田県横手市行政視察(健康の駅 よこて)、目的は達成できた。

- ・横手市では、市民交流拠点において市民の健康維持増進を目的として、健康のための活動を行う施設で健康をテーマにした「健康の駅よこて」事業に取り組んでいた。
- ・保健師、健康運動指導士や運動指導員が常駐する「大規模健康の駅」が3ヵ所あり、トレーニングマシンを使用して筋力トレーニングや有酸素運動を利用者の身体適正に合ったプログラムにより実践していた。年齢層は、50歳以上、50歳以下ともに約半数であり、多年齢層が利用している状況であった。
- ・公民館等を利用し専門の指導員を派遣する地域密着型の「中規模健康の駅」が21ヵ所、町内会館等で行う「小規模健康の駅」が60ヵ所設置されていた。公民館活動や地域活動と連携し健康体操や健康に関する講座などを地域に密着した場所に「中・小規模健康の駅」を設置し、気軽に地域住民が参加できるよう取り組まれていた。
- ・今後も設置数の拡大を目指し2027年までに110ヵ所設置の目標で推進していた。
- ・若者から高齢者まで誰でも手軽に日常的に体操ができるよう「健康の駅よこてらしく体操」を考案し、要介護1の方でもできる体操を推進・実践していた。
- ・市民ボランティアも活躍している。
- ・担当職員の方により事業説明および質疑応答の後、横手市交流センター4階の「大規模健康の駅よこて東部トレーニングセンター」を現地視察しました。JR横手駅前に位置し利便性に優れた場所に立地しており、広いトレーニングルームに多くのトレーニングマシンが設置されており、常駐する指導員の指導により利用者の方がトレーニングに励む設備や環境を確認した。
- ・民間のトレーニングジムも市内にあるので、民業圧迫にならないように夜間は利用できないようにしている、とのことであった。

②第2回地域共生社会推進全国サミット in ゆざわ

- ・秋田県は全国一高齢化と人口減少が加速しているといわれており、開催地の湯沢市においては人口約4万5千人、高齢化率40%目前であり、近年では毎年千人弱の人口減が続いている状況であった。

「つながる環を新しい時代につなぐ～人口減少を乗り越えるために今できること～」をテーマに人口減少等に起因する地域課題などを含め、有識者による講演や先進事例の紹介を交え、地域共生社会の実現を目指して、令和の新しい時代を迎えた今できることについて考える機会となった。

- ・【基調対談】新福祉ビジョンの構想から地域共生社会の実現へ
- ・【パネルディスカッション】新しい時代の地域共生社会
- ・【課題先進地からの提言】人口減少に負けない明るい地域をつくるために～人・モノ・お金・思いのつながりの環～
- ・【分科会A】一人ひとりによりそい支援する体制づくり

確認欄	議長	管理委員長

○提 言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

①秋田県横手市行政視察 (健康の駅 よこて)

- ・ 半田市には、トレーニング施設が半田運動公園と半田福祉ふれあいプールの2カ所  
にあり、多くの方に利用されているが、常駐の指導員等の配置やトレーニング効果  
をデータ化するなど、改善の余地がある。
- ・ 健康寿命を伸ばすことが介護予防にもつながり、長期的には医療費の削減にも貢献  
するので、施設の利用促進はもとより、健康づくりに対する意識の高揚や健康づく  
りを契機とする市民交流の深化などの効果も期待されることから、半田市におい  
ても  
取組みの拡充を図る。
- ・ 半田市の高齢者の健康長寿への取組みについて様々な有効的な施策を考える必要が  
あるが、子どもから高齢者まで、多世代を対象に関係部署が連携して推進できる体  
制の構築が必要である

②第2回地域共生社会推進全国サミット in ゆざわ

- ・ 子ども・高齢者・障がい者など全ての人々が、それぞれの地域において、暮らしや  
生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」を実現する。  
このためには、支え手側と受け手側に分かれるのではなく、総ての地域の住民が  
それぞれの役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティ  
を育成し、福祉などの地域の公的サービスと協働して助け合いながら暮らすこと  
のできる仕組みを構築する。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

--

○実 績 (別紙に領収書を添付すること)

日に ち	時 間 (概略可)	内 容	金額 (円)	領収書 No.
10/9	5:50~6:43	知多半田駅—中部国際空港 (バス)	750	なし
〃	7:50~ 9:10	中部国際空港—秋田空港 (ANA1837 便)	17,210	①
	9:30~10:10	秋田空港—秋田 (バス：秋田空港線)	950	②
		昼食等		

確 認 欄	議長	管理委員長

	11:48~13:08	秋田—横手 (JR 奥羽本線 新庄行)	運賃	1,340	③
〃	14:00~16:00	横手市視察	手土産 1,620	324	④
	宿泊	ホテルプラザアネックス横手		8,500	⑤
10/10	11:34~11:53	横手—湯沢 (JR 奥羽本線)	運賃	330	⑥
		湯沢駅—会場 無料シャトルバス			
〃	13:00~17:40	開会行事 基調対談、パネルディスカッション他 (概要に記載)	参加費 振込手数料	3,000 432	⑦ ⑧
〃	18:30~20:00	交流会	参加費 自費 3,000 円		
〃		無料送迎バス 湯沢—横手			
〃	宿泊	大会主催者の宿泊プラン ホテルプラザアネックス横手	宿泊費	12,000	⑧
10/11	9:23~9:42	横手—湯沢	運賃	330	⑨
〃	9:50~10:05	無料送迎バス 湯沢駅—会場			
〃	10:15~15:00	分科会、特別講演他 (※概要に記載)	参加費	⑦ に含む	⑦
〃	15:05~15:10	無料送迎バス 湯沢文化会館—湯沢駅			
〃	15:23~16:06	湯沢—名古屋 (JR 奥羽本線 秋田行)	運賃	12,640	①
〃	17:43~21:04	大曲—東京 こまち 36 号	指定席	7,520	①
〃	21:49~0:05	東京—名古屋 (大幅遅れ) のぞみ 429 号	指定席	4,830	①
〃	0:20~1:10	名古屋—知多半田 (台風の 影響によりタクシー利用)	16,990 (3名)	<del>5,664</del> 5,663	⑩
			合計	<del>75,520 円</del> 75,520 円	99,819 円

※大会参費 3,000 円/人、交流会参加費 3,000 円/人 (私費負担)、宿泊費 12,000 円/人、の 5 名分、小計 18,000 円の 5 名分、計 90,000 円を代表者がとりまとめ指定口座に振り込み



を行っているため、振り込み手数料 432 円 (No.⑧) は代表者の政務活動費として請求する。

# 領収書等貼付用紙

議員名 新美保博

タイトル

①秋田県横手市行政視察（健康の駅 よこて）  
 ②第2回地域共生社会推進全国サミット in ゆざわ

4 枚中 | 枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

**領 収 証**

HC-00028907  
発行日 2019/09/30

新美 保博 様

**金額 ￥42,200.-**

上記金額を正に領収いたしました  
 但し 10/9~11秋田視察 航空券&新幹線代として

名鉄観光サービス株式会社  
 (本社所在地)  
 名古屋市千代田区名駅南二丁目14番19号  
 (住友生命名古屋ビル8階)

領収者印、責任者印のないもの及び訂正したものは無効です

責任者印 	領収者印 
--	---

HC-037299

現金  
小切手  
振込  
クレジット  
その他( )

②

**領 収 書**

秋田中央交通株式会社

2019年10月 9日(水) 09:33 001号機

**¥950-**

バス乗車代金として  
上記金額を領収いたしました

③

**領 収 証**

発行日 2019年10月09日  
 発行時刻 10月12日

引当内容(乗車券類)  
 乗車代金

金額 10443

この領収証は秋田県内にのみ有効です  
 ※海運券類は別途発行されます

発行日 2019年10月09日

JR 東日本

領収書等貼付用紙

議員名 新美保博

タイトル

①秋田県横手市行政視察 (健康の駅 よこて)  
②第2回地域共生社会推進全国サミット in ゆざわ

4 枚中 2 枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

⑤



HOTEL PLAZA ANNEX YOKOTE

RECEIPT

NAME 新美 保博  
ROOM No 6016 PERSON(S) 1  
ARRIVAL 19/10/09 DEPART 19/10/10

【 DEPOSIT 】  
CREDIT 8,500

【 DESCRIPTION 】  
19/10/09  
SINGLE 1 8,500  
Subtotal 8,500  
SUB TOTAL 8,500  
TAX (772)

AMOUNT TOTAL 0

19/10/09 No.000335522

SIGNATURE

REVENUE  
STAMP

Thank you for your patronage.  
プラザアネックス横手  
〒013-0036  
7-7 Ekimaechou Yokote-city Akita  
TEL : 0182-32-7777 FAX : 0182-32-0900

⑥



⑨



令和元年10月28日

領収書等貼付用紙

議員名 新美 保博

タイトル

- ①秋田県横手市行政視察 (健康の駅 よこて)
- ②第2回地域共生社会推進全国サミット in ゆざわ

4 枚中 3 枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

⑦

第2回地域共生社会推進全国サミットinゆざわ  
**大会参加費領収書**

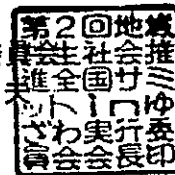
新美 保博 様

金3,000円也

上記のとおり、令和元年10月10日、11日開催の大会参加費として正に領収いたしました。

令和元年10月11日

第2回地域共生社会推進全国サミットinゆざわ実行委  
 会長 鈴木 俊



領収書等貼付用紙

議員名 新美 保博

タイトル

- ①秋田県横手市行政視察 (健康の駅 よこて)
- ②第2回地域共生社会推進全国サミット in ゆざわ

4 枚中 4 枚目

2019年10月07日 (月)

領 収 書

一連No092077  
領収No006040

④

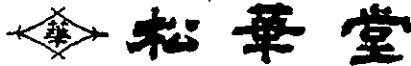
山田 清一 様

¥1,620-

税抜金額  
¥1,500-  
消費税合計  
¥120-



(但し として  
正に領収致しました)



半田市御幸町103  
電話(0569)21-0046

印刷面を内側に折って保管願います

⑧ ご利用明細 三菱UFJ銀行

ご利用いただきありがとうございます。

このご利用明細は必ずお持ち帰りください。

年月日	取扱店番	お取引内容
010906	0440240	お振り込み
受付通番	銀行番号	支店番号
0009		
		お取引金額
*****		¥90,000*
*****		
お取引 できない場合	残高	
時刻	取込手数料	おつり
08.49	¥432*	

お振込先・お受取人  
ご依頼人

三菱UFJ銀行  
 きよなみ支店  
 普通 1490061  
 カ)シ"エイテイ-ヒ"ーヒ"シ"ネスネットワーク  
 様  
 ヤマタ"セイイチ"様  
 0569265657

印紙税

⑩ 領 収 書

2019年10月12日 -022

メーター運賃 ¥17,250円  
 ETC 料金 + ¥970円  
 遠距離 割引 - ¥1,230円  
**合計 ¥16,990円**

《お支払内訳》

クレジット 決済 ¥16,990円  
 車両番号 55265  
 乗務員番号 005678

毎度ご乗車ありがとうございます。



三和交通(株)

北区西味鏡1-110  
 ☎ 901-9552  
 無線配車センター ☎ 913-8686

電車・バス等の公共交通機関において、領収書等の徴取ができない支出の明細書

タイトル

- ①秋田県横手市行政視察（健康の駅 よこて）
- ②第2回地域共生社会推進全国サミットin ゆざわ

支出年月日	金額	経路
10月9日(木)	750円	5:50 知多半田駅発 — 6:43 中部国際空港着 (知多バス半田常滑線)

※特急料金については、この用紙には記載できない。領収書等、支払を証する書類を必ず添付すること。

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和元年10月28日

議員名 新美 保博



令和元年 11月18日

# 政務活動費成果届出書

届出者 嶋崎 昌弘

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

- ①秋田県横手市行政視察 (健康の駅 よこて)
- ②第2回地域共生社会推進全国サミット in ゆざわ

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

①高齢社会を迎え、健康長寿や在宅介護へと高齢者の施策が展開され、半田市においても各地域で健康づくりに関する取り組みが推進されています。横手市では、子どもから高齢者まですべての市民が健康をテーマとした「健康の駅」を市民の交流拠点として、効果的な健康づくりが実践されています。「健康の駅よこて」は、厚生労働省が創設した「第1回健康寿命をのばそう！アワード」において、平成24年度に自治体部門の優良賞を受賞。

健康の駅に大規模・中規模・小規模健康の駅として3つのカテゴリーにそれぞれの機能を持たせて効果を上げています。

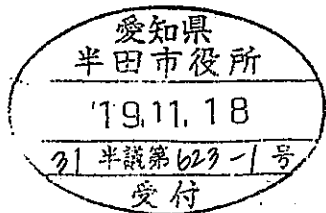
健康寿命を伸ばすことが介護予防にもつながり、長期的には医療費の削減や健康づくりに対する意識の高揚や健康づくりを通じた地域コミュニティの強化などの効果も期待される取り組みのようです。

視察により、今後の半田市の高齢者をはじめ、市民の健康づくりや健康長寿への取り組み強化につながるよう調査研究していきます。

②厚生労働省が掲げる「地域共生社会」とは、「子ども・高齢者・障がい者など全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる」社会のことです。社会構造や暮らしの変化に応じて、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指すというものです。

半田市においても、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、福祉などの地域の公的サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる仕組みの構築が進められています。市・社会福祉協議会・NPO法人・各種団体などと多様な取り組みが行われてきており、今後さらなる「地域共生社会の実現」へ向け、議員の立場として知見を深めるとともに、今後の取組について

確認欄	議長	管理委員長



考え学ぶ機会として、これからの半田市に活かしていきます。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

①秋田県横手市行政視察 (健康の駅 よこて) 目的は達成

- ・「健康の駅」とは認証登録制であり、認証を受ける際の大きなポイントは①老若男女を問わず、集まりやすい取り組み②生活習慣病、介護予防に有効な健康維持増進プログラムを実施 現在全国で20駅
- ・全国の平均寿命が延びる中で、健康寿命を延ばし、要介護状態の防止による健康な期間のさらなる延伸が必要
- ・平成15年12月に市長が「健康の駅構想」を指示
- ・東部、西部、南部に3か所「大規模健康の駅」があり、保健師、健康運動指導士、運動指導員が常駐 利用者：高校生以上、1回2時間以内200円
- ・「中規模健康の駅」21か所「小規模健康の駅」60か所、運動指導員や市民ボランティアを地域(公民館、町内会館等)に派遣
- ・認知症疾患医療センター(横手興生病院)と事業連携しながら、脳トレーニングの充実や相談機能の強化を図る
- ・課題として、認知症対策(高齢者人口の15%が認知症)、中規模、小規模駅の高齢化(新規参加者、リーダー育成)、費用対効果の検証(介護予防や国保データベースによる効果検証)
- ・「健康の駅よこて東部トレーニングセンター」現地視察、JR横手駅から近く利便性が良く、エアロバイク、各種筋トレマシン等がところせまく設置、当日は休館日でありながら詳しい説明、閉館時間は土日PM5:00、土日以外はPM5:30
- ・高齢化に向けて老若男女の居場所づくりは必要不可欠であるが、参加者が来なくなるプログラムづくりも必要不可欠

②第2回地域共生社会推進全国サミット in ゆざわ 目的は達成

- ・「つながる環を新しい時代につなぐ」サブタイトル「人口減少を乗り越えるために今できること」高齢化、人口減少は今なお加速している。人口減少を乗り越える持続可能なまちづくりのため地域のあり方を議論することにより世代や分野を超えて「人」「モノ」「お金」「思い」がつながり循環する地域共生社会の実現を目指して、新しい令和の時代を迎え今できることを考える大会であり、2日間タイトルについて考える機会となった。
- ・二日目の分科会A「一人ひとりによりそい支援する体制づくり」では、猪熊律子コーディネーター高齢者の居場所づくり、特に女性刑務所の中で高齢化問題、社会が生きづらいので軽犯罪を起こし刑務所にもどる方が増加
- ・これからの人材不足に対応する支援のあり方では、AIの開発が必要不可欠

	議長	管理委員長
確認欄		



- ・ 包括的支援体制の構築では、最初から包括を目指さなく、まずは人としての信頼関係である
- ・ 地域共生社会とは、「自助」と「互助」を基本、それを補完する制度「共助」「公助」制度、分野ごとの「縦割り」や「支えて」「受け手」という関係を超えて地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会

○提 言 （半田市に対し、何をどう活用するか。）

- ①秋田県横手市行政視察（健康の駅 よこて）
  - ・ 健康をテーマにした交流拠点づくり（ex 保健センターを中心に週3回ぐらい）
  - ・ 幅広い年齢層に適した体操、仮称「半田らくらく体操」をつくり、健康寿命を延ばし、要介護状態の防止による健康な期間のさらなる延伸
  - ・ 厚生省によると、平成24（2012）年は認知症高齢者数が462万人と、65歳以上の高齢者の約7人に1人（有病率15.0%）であったが、37（2025）年には約5人に1人になるとの推計もあると言われる中、認知症にならないように脳トレーニングの充実や相談機能の強化を図る
  - ・ 保健センターが中心に健康寿命の推進を図る
  - ・ 費用対効果の検証
- ②第2回地域共生社会推進全国サミット in ゆざわ
  - ・ 「互助」を手厚くする 地域に既にある互助を再度見つけ、育む
  - ・ 多職種が知恵を出し合い、地域の課題を解決（ex 地位ケア会議）
  - ・ 「地域の課題は地域で解決する」との気持ちをもつ住民こそ主体であり、それを応援する立場であり、このように意識や認識を変えて頂くために、できる限りの支援
  - ・ 「支えられた人」は、いつか「支える側」になり地域の一員として活動するために、地域共生社会の具体策を明確に講じて参加と協働のまちづくの機運を高める
  - ・ 高齢者雇用の促進（高齢者の方に力を発揮してもらう）

○その他（その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。）

--

確認欄	議長	管理委員長

○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間 (概略可)	内容		金額 (円)	領収書 No.
10/9	6:02~6:43	西成岩駅—中部国際空港 (バス)	運賃	690	なし
"	7:50~9:10	中部国際空港—秋田空港 (ANA1837便)	航空運賃	17,210	①
"	9:30~10:10	秋田空港—秋田 (バス：秋田空港線)	運賃	950	②
"		昼食等			
"	11:48~13:08	秋田—横手 (JR奥羽本線 新庄行)	運賃	1,340	③
"	14:00~16:00	横手市視察	手土産 (1,620)	324	④
"	宿泊	ホテルプラザアネックス横手		8,500	⑤
10/10	11:34~11:53	横手—湯沢 (JR奥羽本線)	運賃	330	⑥
"		湯沢駅—会場 無料送迎バス			
"	13:00~17:40	開会行事 基調対談、パネルディスカ ッション他 (概要に記載)	参加費	3,000	⑦
"	18:30~20:00	交流会	参加費 自費 3,000円		
"		湯沢—横手 無料送迎バス			
"	宿泊	大会主催者提案の宿泊プラン ホテルプラザアネックス横手	宿泊費	12,000	⑧
10/11	9:23~9:42	横手—湯沢	運賃	330	⑨
"	9:50~10:05	湯沢駅—会場 無料送迎バス			
"	10:15~15:00	分科会、特別講演他 (※概要に記載)	参加費	⑦に含む	⑦
"	15:05~15:10	湯沢文化会館—湯沢駅 無料送迎バス			
"	15:23~16:06	湯沢—名古屋 (JR奥羽本線 秋田行)	運賃	12,640	①

申し合わせ様式第2号

〃	17:43~21:04	大曲—東京 こまち36号	指定席	7,520	①
〃	21:49~0:05	東京—名古屋 (大幅遅れ) のぞみ429号	指定席	4,830	①
10/12	0:20~1:20	名古屋—自宅 (タクシー料金)	18,110 (2名)	9,055	⑩
			合 計	78,719 円	

※大会参費 3,000 円/人、交流会参加費 3,000 円/人 (私費負担)、宿泊費 12,000 円/人、の5名分、小計 18,000 円の5名分、計 90,000 円を代表者山田清一議員がとりまとめ指定口座に振り込みを行っている。(No.⑧)

領収書等貼付用紙

議員名 嶋崎 昌弘

タイトル

- ①秋田県横手市行政視察（健康の駅 よこて）
- ②第2回地域共生社会推進全国サミット in ゆざわ

3 枚中 1 枚目

\*特

領収証

HC-00028905

発行日 2019/09/30

①

嶋崎 昌弘 様

印紙税申告書  
付につき名古屋市中村  
区 税務署 承認済

金額 ¥42,200-

現金

小切手

振込

クレジット

その他

上記金額を正に領収いたしました  
但し 10/9~11秋田視察 航空券(新幹線代)として

名鉄観光サービス株式会社

(本社所在地)

名古屋市千代田区名駅南二丁目14番19号

(住友生命名古屋ビル8階)

領収者印、責任者印のないもの及び訂正したものは無効です

責任者印	領収者印

HC-037299

②

領収書

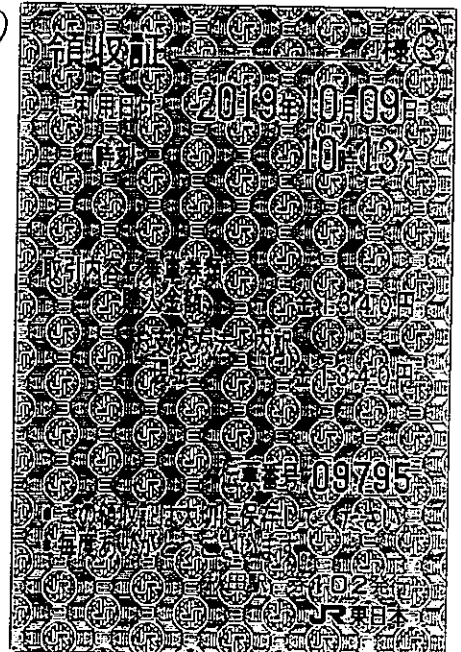
秋田中央交通株式会社

2019年10月09日(水)09:34:001号機

¥950-

バス乗車代金として  
上記金額を領収いたしました

③



領収書等貼付用紙

議員名 嶋崎昌弘

タイトル

①秋田県横手市行政視察（健康の駅 よこて）  
②第2回地域共生社会推進全国サミット in ゆざわ

3 枚中 2 枚目

2019年10月07日 (月)

④

領収書  
山田 清一 様  
¥1,620-  
(但し として 正に領収致しました)

一連No092077  
領収No006040

④

税抜金額 ¥1,500-  
消費税合計 ¥120-



◆ 松葉堂

半田市御幸町103  
電話(0569)21-0046

印刷面を内側に折って保管願います



RECEIPT

NAME 嶋崎昌弘  
ROOM NO 6014  
ARRIVAL 19/10/09  
PERSON(S) 1  
DEPART 19/10/10

DEPOSIT ]  
CREDIT 8,500

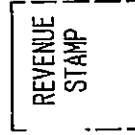
[ DESCRIPTION ]

19/10/09 SINGLE 8,500  
Subtotal 8,500

SUB TOTAL 8,500  
TAX (772)

AMOUNT TOTAL 0

19/10/09 No. 000335525



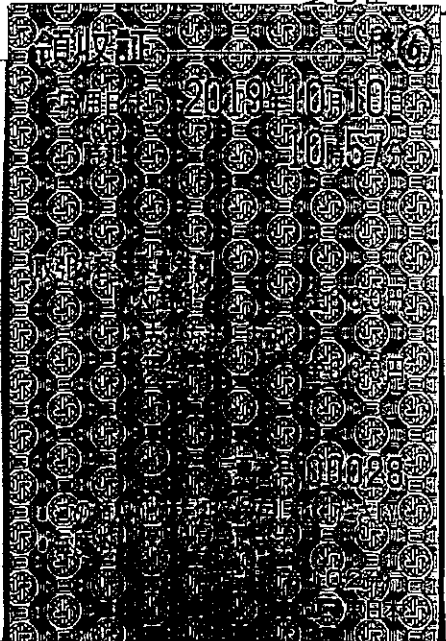
SIGNATURE

Thank you for your patronage.  
アラザアネックス横手

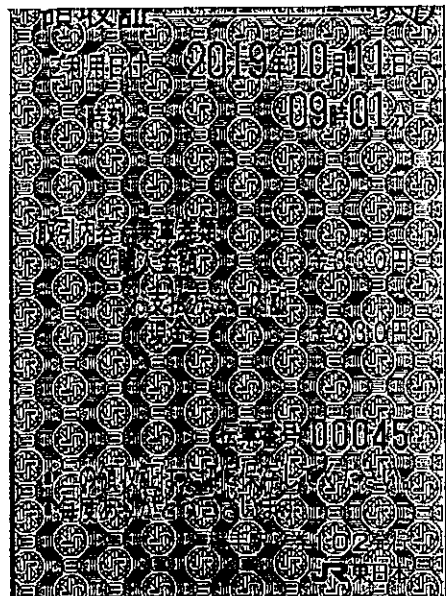
F013-0036  
7-7 Ekimaechou Yokote-city Akita  
TEL : 0182-32-7777 FAX : 0182-32-0900

⑤

⑥



⑨



領収書等貼付用紙

議員名 嶋崎昌弘

タイトル

- ①秋田県横手市行政視察（健康の駅 よこて）
- ②第2回地域共生社会推進全国サミットinゆざわ

3 枚中 3 枚目

第2回地域共生社会推進全国サミットinゆざわ  
大会参加費領収書

⑦

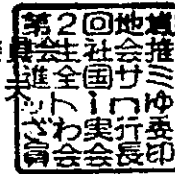
嶋崎昌弘 様

金3,000円也

上記のとおり、令和元年10月10日、11日開催の大会参加費として正に領収いたしました。

令和元年10月11日

第2回地域共生社会推進全国サミットinゆざわ実行委員会  
会長 鈴木俊



ご利用明細 三菱UFJ銀行

ご利用明細は必ずお持ちください。

年月日	取扱店番	お取引内容
0109060440240		お振り込み
受付通番	銀行番号	支店番号
0009		
*****		お取引金額
*****		¥90,000*
お振込 できない場合	残高	
08.49	432*	おつり
三菱UFJ銀行 きよなみ支店 普通 1490061 カ)シ)エイイーヒ)ーヒ)シ)ネスネットワーク 様 ヤマダセイイチ様 0569265657		

領収証 (クレジットカード支払)

No.9413  
日付 '19年10月12日  
車番 100291 002  
基本運賃 ¥18450円  
遠距離割引 -¥1350円  
ETC料金 ¥1010円  
合計 ¥18110円  
CD. 4566 0535 3245 1066  
CO. UFJ VD. 21/08  
MC.

⑩

「毎度、ご乗車ありがとうございます」  
交通株式会社  
市北区加米町100番地  
EL901-0012  
ハイタクグループ名古屋  
EL241-2233  
※お振込先、お振替先

印紙税

電車・バス等の公共交通機関において、領収書等の徴取ができない支出の明細書

タイトル

- ①秋田県横手市行政視察（健康の駅 よこて）  
②第2回地域共生社会推進全国サミット in ゆざわ

支出年月日	金額	経路
10月9日(木)	690円	6:02 西成岩発 — 6:43 中部国際空港着 (知多バス半田常滑線)

※特急料金については、この用紙には記載できない。領収書等、支払を証する書類を必ず添付すること。

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和元年 11月 18日

議員名 嶋崎昌弘 